

## 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ご当地サイダー「破砕ダー(仮)」製作事業
事業主体 (連絡先)	大町市 (0261-22-0420)
事業区分	⑥オ その他地域の特色、個性を生かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	5,613,257円(うち支援金:1,189,000円)

### 事業内容

4月中旬のアルペンルート開通と同時に破砕帯の水を採取し製造業者に輸送、瓶詰を行った。市内でラベル印刷及び貼付を行い、黒部ダム観光放水の開始に合わせ、平成26年6月12日に販売を開始した。初回製造本数は10,000本で、当初は年間で合計20,000本程度の製造を想定していたが、販売開始以来、黒部ダム周辺エリアを中心に好調な売上が続き、7月に10,000本、さらに8月には20,000本の増産を実施。

販売は黒部ダムや市内の小売店で行ったほか、市内外のイベントでも販売を行った。さらに、各種イベントでの活用、キャンペーンでのノベルティ等として約2,500本を使用した。また、メディア等でも多数取り上げられるなど、市の新たなブランド商品として確立し、総じて大町市のブランド力向上に寄与した。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

市街地への回遊性の向上として、中心市街地3地点の歩行者・自転車通行者数が、平成26年8月調査時で、前年比約3%増となった。また信濃毎日新聞、大糸タイムス、大町市有線放送、朝日新聞、立川経済新聞、テレビ信州、ニッポン放送、TURNSといった各種メディアからも取材を受け、これらの情報発信により市民及び県内外の観光客への浸透を図ることができ、2月末までに当初見込みの10,000本を大幅に上回る約45,000本を小売店等へ納品。市のブランド商品として確立することができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成26年9月に、市内の民間事業者へ製造事業を委託。今後は事業者と協力しながら、民間の感覚を活かしてのより一層のセールス活動に取り組んでいただくと共に、新たな商品展開を模索し、「ハサイダー」のブランドを確固たるものとしていきたい。また、現状では総売り上げの約半数が黒部ダム周辺エリアでのものであるため、市街地での流通がもっと増え、回遊性の向上に結び付けられるような仕組みを考えていきたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【ハサイダー】

### 【目標・ねらい】

- ①大町市の認知度向上
- ②市街地の回遊性向上
- ③大町市と黒部ダムとの歴史的関連性 PR
- ④地域産業の活性化

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

当初の予想を大幅に上回る反応があり、大町市と黒部ダムとの歴史的な関係を広く PR するとともに、大町市の新たなブランド商品として、市のブランド力向上に寄与した。